

萩まちじゅう博物館シリーズ vol.10 ～活動団体編～

大島元気なねえさまの会は、大島の恵まれた自然環境や郷土の歴史、食、農林水産資源などを組み合わせ、都市と農産漁村地域の交流を行うことで地域の活性化を図ることを目的として平成20年7月に設立された住民組織です。

平成20年度に地域資源点検活動を行い、地元のお宝を掲載した「おーしまっぷ」を作成し、年間2回の交流活動を行っています。

会の役員は、農協女性部、漁協女性部、婦人会を中心とした地域住民18名で構成されており、大島！元気！ねえさま！の三つのキーワードから命名されています。

○大島の概況

壇の浦の戦いに敗れた平家の落人7人が流れ着いて島を拓いたという伝説がある島です。萩浜崎港から約25分という距離で、船から島を眺めると亀の形に似ています。島は台形状になっており、台上には、畑が広がり大きなほ場となっています。

○イベント内容

年に2回、1月と7月に「大島まるまる体験ツアー」を開催しています。1月は「ブロッコリーの収穫体験と島内散策」、7月は「サザエのつかみ取り体験と海鮮バーベキュー」が主な内容となっています。2回とも郷土料理づくりの体験も盛り込んでいます。イベントの最後には「大島の特産品販売」も行い、フェリーでのお別れの際には、紙テープでのお見送りをし、参加者とスタッフが一体化する感動の場面が味わえます。

また、大島に観光に来られた方のガイドなども予約制で行っています。

大島
元気な
ねえさまの
会



＜サザエのつかみ取り体験＞



＜ブロッコリーの収穫体験＞



＜紙テープでのお見送り＞

萩まちじゅう博物館情報

- 開催中 萩博物館 新収蔵庫完成記念企画展「萩博 美のイッピン! (第2期)」(～3/3)
- 開催中 萩まちじゅう味めぐり・萩温泉郷湯めぐりキャンペーン：萩市内各所 (～3/31)
- 開催中 萩城下の古き雑たち：旧久保田家住宅ほか市内各所 (～4/3)
- 開催中 萩人形展：伊藤博文別邸 (～4/3)
- 2/16 (土) 萩往還梅林園まつり (3/10までの土日のみ)、萩・椿まつり：笠山椿群生林 (～3/21)
- 3/3 (日) 萩・しろ魚まつり：萩シーマート
- 3/16 (土) 萩博物館特別展「描かれた萩の大地」(～5/12)
- 3/21 (木・祝) 開運!なんでも鑑定団出張鑑定：萩市民館
- 3/23 (土) 萩往還ワンデーウォーク2019
- 3/24 (日) 萩の酒まつり：萩本陣
- 3/29 (金) 明治維新胎動の地・萩「長州サムライ市場」観光開国プロジェクト：萩シーマート
- 3/31 (日) 風人雷人 in 萩：市内各所
- 4/1 (月) 大地と人のつながりに感動!笠山・自然体感ガイドツアー (5/31までの毎週日曜、4/28・5/5を除く)
- 4/3 (水) 流し雛：藍場川 (旧湯川家屋敷周辺)
- 4/22 (月) 第77期名人戦七番勝負第2局 (～4/23)
- 5/1 (水) 萩焼まつり (～5日)
- 5/3 (金・祝) 萩往還まつり「枝・明木展」(～4日)、須佐焼ふれあいまつり (～4日)、萩・大茶会 (～4日)
- 5/5 (日・祝) 子供の日オールレンタルDay：萩アクティビティパークナチュラサーキット
エコキャンプまつり：須佐湾エコロジーキャンプ場、はじめてのお茶～こども茶会：熊谷美術館
- 5/19 (日) 浜崎伝建おたから博物館
- 5/25 (土) 松陰神社春季大祭

NPO萩まちじゅう博物館 広報紙 第10号 (平成31年2月12日)

共に歩む



ふれあいの日2018

～おたからを 守り伝える 我らがパワー!!～

10月13日 (土) に開催しました



春日保育園 太鼓演奏



お楽しみ♪



開会式



まち博おたから情報班



外国語班



研修班



だど緑の推進班



自然おたから班



ガイド班



市衛・清掃班



ショップ班



レストラン班



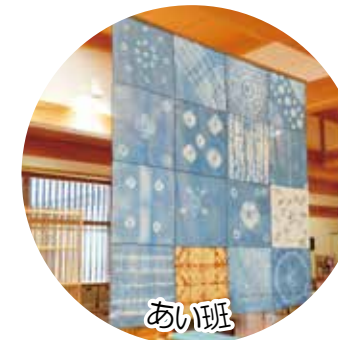
萩博物館班



歴史班



天文班



あい班



古写真班



レコード班



民具班



タマoka班

一緒に萩ジオパーク構想の推進を ⑨

萩ジオパークフェア2019へご参加ください

萩ジオパークの日本ジオパーク認定を記念して、3月8日（金）から10日（日）の3日間、『萩ジオパークフェア2019～地球のごちそう、いただきます！～』を開催します。今回は、「大地と食」の切り口から、「ジオパーク」の取組みについて、多くの皆さまに体感していただきたく、準備を進めています。

8日は、サンライフ萩にてジオパーク認定記念講演会を行います。異好幸神戸大学教授による「和食はなぜ美味しい日本列島の贈り物萩バージョン」と題した講演で、変動帯の国・日本だからこそ生まれた、美味しい和食の秘密を紐解きます。

9日午前中は、萩・明倫学舎で萩・阿武の食材をふんだんに使ったパエリアの無料試食会とシェフの指導によるパエリア作り体験を行います。萩の食材はどうして美味しいのかを地球科学と料理人の目で説明します。午後は、萩ジオプランナーが企画した「萩ジオパークお試しツアー」を開催します（パエリア作りとお試しツアーは事前申込）。

最終日の10日は、阿武町町民センターにて、阿武町版「ジオなべ」の振る舞いや、各地の美味しい商品の販売、また、地域で活動しておられる皆さんと一緒に、美味しい火山実験やものづくり体験コーナーなど盛りだくさんのブース出展を行います。天候次第ですが、阿武町モドロ岬クルージングも計画。最後は、シンポジウム「ジオパークの楽しみ方～私たちの果たすべき使命～」として、ジオパークという手法を用いての地域の楽しみ方、伝え方をみんなで考えようという趣旨の講演やトークセッションを企画しています。

萩ジオパークが総力をあげて提供する、楽しいそして美味しいプログラムです。ぜひ、皆さん、足をお運びください。（問合せ 萩ジオパーク構想推進協議会 0838-21-7765）



NPO萩まち博 最新情報

第6回 萩まちじゅう博物館おたから総会

とき：2月21日（木） ところ：萩博物館 講座室

第1部 おたから総会（発表）10：45～12：00 / 無料、申込み不要

第2部 おたから交流会 12：15～13：15 / 参加費500円、申込み2/15まで

主催：萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

問合せ：事務局（NPO 萩まちじゅう博物館）TEL：0838-25-8177

☆関連展示

「萩のおたから紹介ブース」

これまでに認定された各地域のおたから情報等をパネルで紹介。期間中は「萩のおたからしっちゃんクイズ」も実施。クイズ正解者の中から抽選で10名様に特産品などをプレゼント！

とき：2/21（木）～3/14（木）
ところ：萩博物館エントランスホール

萩食材のミックスピザ



レストランの喫茶に
新メニューが加わりました！

萩野菜とむつみ豚のベーコン、
見蘭牛のソーセージを使って
おります。ピザソースも当店
手作りです。

❀ 単品 700円

❀ ドリンクセット 900円

ミュージアムショップ

新収蔵庫完成記念企画展「萩博 美の
イッピン！第二期」の開催に伴い、
萩博物館のエントランス正面に展示
されている屏風「名勝萩と長門峡の
図」の8分の1のミニチュア屏風や、
美しい絵柄や画像のハガキ、クリアファイルなどを販売しています。
また、松林桂月に関する書籍やグッズも販売しています。企画展は
3月8日（日）までです。どうぞお越しくださいませ。



「名勝萩と長門峡の図」屏風
3,090円



松林桂月筆ハガキ 各100円
松林桂月筆マグネット 各520円

班活動紹介



一緒に活動
してみませんか？

萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業

萩まちじゅう博物館では、平成25年から、「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」を進めています。この事業は、地域のおたからを再発見して、「萩のおたから」として地域から推薦し、市民が互いに認め合い、データベースで公開して、活用を考える取り組みです。

NPO萩まちじゅう博物館は、この実行委員会の事務局として、日々、様々な地域の方とやりとりをしながら、情報収集や整理、おたからマップの作成、地域交流イベントやワークショップの企画・実施を行っています。今回は、この事業のコンセプトをご紹介します。

「おたから」を継承する意識を持つ

変化の激しい現代の世の中で、全てのおたから（文化遺産）を守り続けることは容易なことではありません。しかし、それを自然に任せて無意識のうちに失っていくことと、意識を持って「これは私たちの地域の大切なたからなのだ」「できるだけ守り伝えていこう」「保存が難しければ、せめてきちんと記録していこう」と継承の努力をしていくこととは、大きな違いがあります。



＜おたから総会の様子＞

現代の暮らしの中でいかす（生かす・活かす）

おたから（文化遺産）は、決して、凍結的に保存することだけが継承の手段ではありません。積極的に紹介され、活用され、あるときは新しくつくられるもののモチーフになり、現代の人々の暮らしの中でいかされていくことこそ、最大の継承の手段であると考えます。



＜まち歩きツアーの様子＞

おたからをお互いに認め合う

本事業では、文化遺産の調査・記録作成事業、認定事業、データベースの作成、普及啓発・育成事業などを中心とした事業を行っていきます。調査では、地元の人たちが地元を改めて歩いて、地域で大事にされてきたもの・大事にしていきたいものを再発見・再確認し、写真や位置情報、説明などを記録することで、おたからの拾い上げを行っていきます。認定というのは、市民や地域の人々同士が「これはこの地域にとってこういう意味で大切なものなのだから、萩のおたからですね。」と互いに見せ合って認め合うステップです。



＜地域でのワークショップの様子＞

まずは何が地域のおたからなのかを知る

本事業の最終的な目標は、地域のおたからや隠れた魅力を地域の資源・財産として、まちづくりや観光にいかしていくことです。愛着をもって大事にしながらも現代の感性で使いこなしていくためには、まずは何が地域のおたからなのか、それはどこにあるのか、そこにはどんなストーリーがあるのかを萩市民全員が知ることから始まります。

その基礎資料やしくみをつくるのがこの事業です。

これからも、萩のおたから
を未来に引き継ぐため、萩市
民が協力しあい、守り育て、
いかす（生かす・活かす）活
動を進めていきますので、皆
様のご理解とご協力をよろし
くお願いいたします！